

「アジア防災科学技術情報基盤の形成」に関する第1回年次ワークショップ (First Annual Workshop on Disaster Reduction Hyperbase - Asian Application)

実施概要報告書

1. 日 時 平成19年3月14日(水)～ 15日(木)

2. 場 所 地震防災フロンティア研究センター大会議室(神戸市脇浜海岸通 1-5-2)

3. 目 的

- ・科学技術振興調整費「アジア防災科学技術情報基盤の形成」(DRH-Asia)プロジェクト(平成18年度～20年度)の第1年度を締めくくる国際ワークショップを開催した。
- ・DRH-Asia プロジェクトは、平成17年度の科学技術振興調整費で実施されたフェーズ1プロジェクトにおいて確認された決議(Tsukuba Resolution)を基礎に、DRH-Asia をウェブ上に構築し、その活用を図るもので、この方針の確認も本ワークショップの主題のひとつであった。
- ・本ワークショップは、以下の項目について結論を得ることを目標に実施した。
 - 1) Tsukuba Resolution の意義の確認
 - 2) DRH-Asia プロジェクト第1年(平成18年度)における活動の評価
 - 3) DRH-Asia のウェブシステム開発方針の確定
 - 4) DRH-Asia のコンテンツ登録手順の確定
 - 5) DRH-Asia のコンテンツに用いる書式(DRH Template)の確定
 - 6) これらに関する結論を決議(Kobe Resolution)にまとめる

4. 参 加 者

人数 : 51 名

参加国 : 日本、バングラデシュ、イラン、ネパール、インドネシア、インド、ペルー、アルジェリア、中国、フィリピン、国連国際防災戦略局(ISDR)、欧州連合共同研究センター(EC/JRC)

5. 成 果(発表資料は <http://www.edm.bosai.go.jp/old/m-n.html> から pdf ファイルでダウンロード可能)

本ワークショップの成果は、以下の決議(Kobe Resolution 2007)に要約できる。

- * 「アジア防災科学技術情報基盤の形成」に関する第1回年次ワークショップ(神戸:2007年3月14-15日)の参加者は以下の事項を合意した:
 - ・アジア防災科学技術情報基盤の形成(DRH-Asia)プロジェクトは:
 - ・総合リスクマネジメントに顕著に貢献する。
 - ・兵庫行動枠組の実現に貢献する。
 - ・第1年目(2006年度)において、システム構築とコンテンツ生成に顕著な成果を挙げた。さらに、
 - ・DRH コンテンツ会議(神戸:2007年3月12-13日)は、"Implementation Technology"(現場への適用戦略を持つ科学技術、プロセスの技術、および地域に根ざして発達し他地域へも広く適用可能な防災の知恵)の具体化と練磨、および DRH テンプレートの完成に有意義であった。
- * これにより、以下のように決議する:
 - ・ Tsukuba Resolution 2007*に従い DRH-Asia の構築を進める。
 - ・ DRH-Asia を解放的なシステムとし、関連するイニシアティブと連携し、普及の努力を行う。
 - ・提案された第2年目(2007年度)の開発方針と DRH テンプレートを合意する。さらに、本ワークショップの参加者は
 - ・ DRH の使命達成のためそれぞれ可能な資源をもって貢献し、
 - ・ 2008年に DRH-Asia をさらに発展させるため北京で再会する。
- * Mission Statements and Resolution endorsed in the **Workshop on International Framework for Development of Disaster Reduction Technology List on Implementation Strategies "Disaster Reduction Hyperbase (DRH)", Tsukuba, Japan, 27-28 February 2006**

(報告:研究代表者・亀田弘行)



写真:「アジア防災科学技術情報基盤の形成」に関する第1回年次ワークショップ実施状況